

## 具体的に議論すべき論点について

---

# 主な審議事項と当面の議論の射程について

## ＜主な審議事項＞

- ・ 地方公共団体管理分を含めた様々な分野のインフラに関する実態の把握
- ・ 維持管理の容易な構造の採用等を通じたメリハリのある維持管理
- ・ AI・ロボット等の新技術の導入の方向性
- ・ インフラのマネジメントを支える主体間の連携・協働体制
- ・ 今後のインフラのマネジメントのあり方

## ＜インフラマネジメントに係る当面の議論の射程＞

□インフラの点検・調査・計画・設計・整備・維持管理

□まちづくり、公共空間の利活用

※なお、まちづくり、公共空間の利活用については、本小委の当面の議論の射程としない。

# 具体的に議論すべき論点(案)

1. 5つの道すじに関する論点(下水道等に起因する大規模な道路陥没事故を踏まえた対策検討委員会「第3次提言」より)
  - (1) 2つの「見える化」を徹底する制度やデータベースの整備・公表の強化
  - (2)-① 点検・調査の頻度や内容を含め、基準や要領を適切に整備し、重点化・軽量化の「メリハリ」のあるインフラマネジメントの実現
  - (2)-② 対策の優先度設定や計画的な集約・再編などインフラ再構築を促進する仕組み
  - (3) 統合的「マネジメント」体制の構築
    - ・点検・調査のみならず、計画・設計・整備・修繕・改築など全てを一体化  
(施設のメンテナビリティやリダンダンシーの確保等)
    - ・様々な施設管理者の連携強化
  - (4) エッセンシャルジョブの世界に「もっと光を」あてる対策の強化
  - (5) 管理者・利用者・一般市民が一体となって「モーメンタム」を醸成する取組の強化

## 2. 実現に向けた論点

- ( i ) 予算の安定的な確保、財政上の支援や国の関わりの強化
- ( ii ) 技術者不足に対する主体間の連携・協働体制、支援体制の強化
- ( iii ) AI・ロボットなどデジタル技術の活用に向けた支援の強化
- ( iv ) 民間ノウハウの最大限の活用